

事故の型別にみた車両系荷役運搬機械等による主な死亡災害事例 (平成20年発生分)

■ フォークリフト

01. 墜落・転落

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	千葉	その他	5月	60歳以上	一般廃棄物処理施設において、解体耐火物の入ったフレコンバッグ2袋（合計1.23t）を最大荷重1.2tのフォークリフトで吊り上げ、ごみピットに投入しようとしたところ、フォークリフトが前方に傾き、運転者がフォークリフトとともに約8m下のごみピットに墜落してフォークリフトのバッテリーの下敷きになり被災したものの。
2	兵庫	運輸交通業	11月	40～49歳	被災者はフォークリフト（最大荷重800kg、フォークと一緒に運転席も上昇する）に乗り、倉庫内の2段目の棚の商品の出し入れを手作業で行おうとしていた際に、フォークリフト上から墜落し、その後死亡したものの。

■ フォークリフト

02. 転倒

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	福島	製造業	5月	60歳以上	被災者が丸鋸でバタ材の耳すり作業を行っていたところ、材料のバタ材がなくなったため、フォークリフトを運転し、脇にあるストックヤードからバタ材を運ぶ作業を行った。 フォークにバタ材40～50本（250kg）を積み込み、バックで切り返した後に前進しようとして右にハンドルを切った際に、外側（左側）に転倒し、運転していた被災者がフォークリフトと地面に挟まれた。
2	愛媛	製造業	3月	50～59歳	被災者はフォークリフト（最大荷重2.8t）を運転し、工場で製造されたコンクリートブロックを製品置場に運搬し、空の状態でも工場に戻っていた。傾斜7度の上りこう配に出て右折しようとしたところフォークリフトが横転し、被災者は横転したフォークリフトのヘッドガードと道路面とに挟まれ、死亡した。

■ フォークリフト

03. 激突

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	千葉	商業	8月	40～49歳	被災者は事業場倉庫においてピッカーフォークリフト（フォークが運転席の後方にあるもの）を使用し、パレット（幅110cm）に2段積みされた荷（84kg）を運搬するためラック間の通路をバック走行していたところ、2段目のパレットがラックの柱に衝突し、ずれ、通路左右のラックの柱に132cmの高さで固定され通路を塞いだため、被災者は当該パレットに激突し、運転席とパレットに挟まれて死亡したものの。
2	埼玉	製造業	1月	60歳以上	被災者は、回転クランプ付きリーチフォークリフト（最大荷重0.9t）を停車させ、すぐに、また別の回転クランプ付きリーチフォークリフト（最大荷重1.05t）に乗り換えた。そして後進（フォークリフトは無負荷）したところ、停車させた乗り換える前に乗っていた回転クランプ付きリーチフォークリフトのクランプに身体を激突し、その後死亡したものの。

■ フォークリフト

04. 飛来・落下

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	鹿児島	運輸交通業	12月	60歳以上	荷卸し先において、積荷のシート外しを終えた後、荷卸し先の作業者が運転するフォークリフトで荷台前方の積荷（幅66cm、奥行き1m、高さ1.2m、重さ800kg）を降ろしていたところ、フォークに載せた荷物がバランスを崩して落下し、そばにいた被災者に当たり、被災者はその反動で飛ばされて地面（コンクリート上）に強く打ち付けられ入院したが、その後死亡した。

■ フォークリフト

05. 激突され

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	静岡	製造業	11月	30～39歳	丸太の廃材（直径35cm、長さ80cm）を鋼製のコンテナに入れるためフォークリフトの右側のフォーク先端箇所を丸太を立てて載せ、被災者は左右のフォークの間に立ち入って丸太がフォークから落下しないように押さえて、運転者がフォークリフトを操作しコンテナに近づけようとした際、丸太が落下しそうになったため運転手がハンドルを操作したところ、左側のフォークとコンテナとの間に被災者が挟まれ、死亡したものの。
2	東京	運輸交通業	4月	60歳以上	運送業者のトラック運転手である被災者が、出庫される荷を積むため14tトラックで入場し、予め積んであった緩衝材をいったん降ろす作業を行っていたところ、出庫業務を請け負っている労働者が運転するフォークリフトに接触、転倒し、数日後に死亡したものの。
3	香川	製造業	12月	60歳以上	被災者は、構内の事務所でタイムカードを押し、被災者の作業場所である小組立工場へ行くため構内の道路（幅約8.8m）上を歩いていたところ、事務所から100mくらい北側の第一工場と第二工場の間のコナーのところで、被災者の後方から荷を積んで前進走行して来たフォークリフトの前輪に轢かれ、死亡した。
4	愛知	その他	4月	60歳以上	フレコン（牛の配合飼料・1袋500kg）を倉庫内に運ぶため、フォークリフトのフォークにフレコンを2袋吊るした状態で労働者がフォークリフトを運転し前進走行していたところ、出勤のため工場入口から食堂がある建物内に向かって歩行していた被災者とフレコンが接触し転倒し、入院したが、その後死亡した。
5	群馬	商業	2月	20～29歳	リーチフォーク（最大荷重1.7t）を使い、外壁材（2.16t）を約90cm持ち上げて移動したところ、コンクリート地面の傾斜がありリーチフォークが前のめりになり後部があがり荷物が崩れ落ちた。その時被災者も運転台から地面に転落し倒れたところに反動で戻ったリーチフォークの左後輪が被災者の上に落ちて、激突された。

■ フォークリフト

06. 挟まれ・巻込まれ

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	大阪	その他	3月	40～49歳	ドラムクリッパーを用いて、フォークにドラム缶（242.9kg）を吊り上げて運搬中、吊り上げたドラム缶の介添えをしながら、フォークリフト（最大荷重3t）と併走していた作業員が転倒し、当該フォークリフトに踏まれ、同日午後8時55分頃死亡した。
2	大阪	その他	5月	30～39歳	被災者が仰向けに倒れていたため救急車で病院に搬送したが同日21時頃死亡した。第一発見者は、被災者がフォークリフトを運転し、建屋内に保管していたコンテナを建屋入り口付近へ押し移動させていたところを確認している。発見時において当該フォークリフトは無人で動いており二次災害を防ぐため第一発見者がキー操作によりエンジンを切り止めた。
3	栃木	商業	11月	50～59歳	運転者はバッテリーフォークリフトで荷の搬送作業中、倉庫で荷をとり後進中に音がしたため停車した。付近にいた被災者はパレット上の荷崩れ状態を確認するため、フォークリフトのヘッドガードの上に乗り確認後、フォークリフトの運転席前部に足をかけ降りようとしたところ足を滑らせ転落、チルト後傾の操作レバーの上に乗ったことで、運転席側に動いたバックレストとヘッドガードの間に挟まれた。
4	青森	運輸交通業	11月	50～59歳	資材置場において、被災者がフォークリフトを使ってトラックの荷台に荷振れ防止用の発泡スチロールを積み込む作業を行っていたところ（推定）、フォークリフトのマストとヘッドガード前部のフレームとの間に挟まれて負傷し、翌日に死亡した。
5	広島	製造業	9月	60歳以上	廃タイヤを破砕したものを容器（縦1.6m、横1.9m、高さ1.4m）に入れて屋外の置場にフォークリフトにて前進方向に搬送していたところ、屋外にて作業をしていた被災者はフォークリフトの前輪に轢かれ、死亡した。
6	埼玉	運輸交通業	12月	60歳以上	被災者はフォークリフトを無資格にて運転し、冷蔵トラックから空箱を降ろす作業を行っていたところ、フォークリフトとトラックの間に挟まれ、被災した。
7	広島	その他	3月	40～49歳	フォークリフトの油圧ホースが劣化していて、新しいものと取り替える作業を被災者が一人で行っていた。エンジンはかけていなかったが、修理中にレバーに触れてしまったのか、キャビンの前とマストのベースに挟まれているところを発見され、すぐに病院へ運ばれたものの死亡が確認されたもの。
8	長崎	運輸交通業	6月	60歳以上	1名がフォークリフトのフォーク部分に乗り、高さ3.6mの位置にある大型冷蔵庫のモーター部分の修理をする作業を3名で行っていたところ、運転者の操作ミスにより前進したフォークリフトと大型冷蔵庫の壁との間にフォークリフトの右前方に立っていた労働者が挟まれ、死亡したものの。
9	愛知	商業	11月	60歳以上	フォークリフトの運転席前方から、運転席に乗り込もうとした際、チルトレバーを押しすぎてしまい、マストとヘッドガードの間に身体を挟まれた。

■ フォークリフト
06. 挟まれ・巻込まれ

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
10	北海道	製造業	1月	30～39歳	被災者は、午後の休憩後、工場構内の材料置場でフォークリフト（最大荷重2.5t）を運転し、2段重ねになっている材料（木製の梁材、41本）の下段の材料を1本抜き取る作業を行っていた。午後5時になって被災者の姿が見えなかったため上司が探したところ、下段の材料（29本）とフォークで持ち上げた材料（12本、約200kg）の間に挟まれた状態で発見され、救出後、病院に搬送したが死亡が確認されたもの。
11	鹿児島	その他	8月	50～59歳	飼料の荷揚用のバケツ（2枚のバケツが上部を支点に開閉する構造。背部の幅1.7m 開閉部の高さ1.3m 容量2.3m ³ 重量2t）をトラックに積み込むため、バケツ背面をフォークリフトで押して閉じようとしたところ、バケツ内部でギア部分の清掃を行っていた被災者が、バケツの開閉部分に挟まれ、約2時間後に死亡したもの。
12	千葉	商業	4月	20～29歳	回収センター内でフォークリフト（リーチフォーク）を用いてボックスラックを移動しているとき、固定ラックとリーチフォーク車体に挟まれ被災し、事故発生から約2ヵ月半後に死亡した。
13	静岡	製造業	8月	40～49歳	被災者は一人でフォークリフトを用い、巻き取りロールの損紙を運搬していたが、抄紙機2号ラインの側面に設けられた昇降階段と被災者が運転していたフォークリフトに挟まれているところを、同僚に発見された。被災者は直ちに救急車で病院に搬送されたがその後死亡したもの。
14	佐賀	製造業	3月	40～49歳	被災者は、工場敷地外より敷地内へ伸びた雑木の枝打ちを、フォークリフトのフォークにパレットを搭載し、パレット上で作業中、何らかの原因で負傷し、同僚から運転席にうずくまっていたところを発見され、医療機関へ搬送されたが死亡したもの。
15	滋賀	商業	4月	40～49歳	フォークリフトでパレットに積まれた高さ1.6mの梱包資材（発泡スチロール）を三段積みにする為、積載した二段積みのパレットを上昇させながら一段目のパレットに近づいたところ、上段のパレットがずれたので、フォークリフトを止め運転席前方のマストの間から身を乗り出してパレットを直していた際に、バランスを崩し操作レバーに尻込みをし、マストが運転席側に傾斜して、マストとヘッドガードの間に挟まれた。
16	岐阜	製造業	8月	30～39歳	フォークリフトで荷（ナイロン樹脂をロール状に巻いた円柱形の資材、1個30～40kg）の揚げ降ろし作業をしていたところ、被災者は車体フレームとマストの間に挟まれた状態で発見されたもの。
17	岐阜	製造業	11月	50～59歳	被災者は、リーチフォークリフト（立って運転するタイプ・最大荷重900kg）で荷物を取りに行こうと事業場構内を走行していた。空のコンテナをフォークに載せていたため前が見えず、ハンドル操作を誤り、後退で走行中、コンクリート製の事務所の壁に激突し、フォークリフトと当該壁面に挟まれ、死亡したもの。
18	広島	製造業	4月	20～29歳	最大荷重7tのフォークリフト（積荷はなし）で運行中、左折時にフォークリフトの右側マストが労働者と接触し、倒れたところを轢いたもの。

■ ストラドルキャリア
01. はさまれ・巻込まれ

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	兵庫	その他	10月	60歳以上	バースに係留された本船へ、被災者が船頭を務めるはしけの荷を運搬するため、本船付近にはしけに係留させた。その後、はしけに係留した付近のバース内において、トラックに積まれたコンテナを降ろすために前進していたストラドルキャリアに被災者が轢かれ、死亡したもの。

■ 不整地運搬車
01. 墜落・転落

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害発生概要
1	北海道	建設業	8月	60歳以上	被災者は、林道開設工事において掘削した表土等を不整地運搬車（最大積載量4.3t）で340m離れた捨て場に運搬する作業を午前8時頃から行っていた。午前9時30分頃、同僚が何か転落するような音が聞こえたので、確認したところ、不整地運搬車が林道から約68m下の沢に転落しているのを見つけた。被災者は、林道（幅員4.3m）から約48m下の斜面で発見され、すぐに救出し病院に搬送されたが死亡したもの。